

【授業科目】助産診断・技術学III（産褥・新生児） Midwifery Diagnostics and Technique III

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
高塚麻由、日比千恵、野内香純	4年次前期	選択	1	15	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要（内容と進め方）及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要／助産の基本概念を踏まえ、産褥および新生児の正常経過とその逸脱を学び、助産過程の展開に必要な知識・診断技術について学習する。また、演習を通して助産の実践に必要な援助技術を修得する。動画を利用して援助技術の振り返りを行う。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／講義・演習において口頭でフィードバックを行う。提出された課題レポートにコメントをつける場合もある。</p>							
実務経験に関する授業内容	産科領域の臨床経験を持つ教員が、助産師として必要な産褥期、新生児期の知識について、視聴覚教材や経験を交えながら授業を進める。							
授業の位置づけ	<p>大学のディプロマ・ポリシー①「看護の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき看護を実践できる」の達成に寄与している。</p>							
到達目標（履修者が到達すべき目標）	<ol style="list-style-type: none"> ① 産褥および新生児の助産診断・診断技術に必要な基本的知識を述べることができる。 ② 産褥期にある親子の関係性を形成するための支援ができる。 ③ 産褥期にある産褥の母乳育児への支援ができる。 ④ 心理社会的ハイリスク産褥と家族へのケアについて述べるができる ⑤ 地域における子どもとその家族のケアについて述べるができる。 							
時間外学習に必要な内容・時間	<p>【事前学習】</p> <p>第1回：母性看護学概論、母性看護援助論I・II、小児看護学概論、治療学IV（小児・女性）、統合実習、母性看護学実習、小児看護学実習の復習（120分）</p> <p>第2-6回：DVDや動画を視聴し、演習ができるように準備しておく（各120分）</p> <p>第7-8回：母子の心理・社会および心理社会的ハイリスク産褥と家族についての復習（各120分）</p> <p>【事後学習】</p> <p>第1-7回：課題レポートの作成（各120分）</p> <p>第8回：最終レポートの作成（120分）</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 授業オリエンテーション、産褥・新生児期の助産診断とケア</p> <p>第2回 産褥・新生児期の援助技術① コミュニケーションスキル（演習）</p> <p>第3回 産褥・新生児期の援助技術② 母乳育児支援に必要な知識を活かした支援を学ぶ（演習）</p> <p>第4～5回 産褥・新生児期の援助技術③ 母乳育児支援（演習）</p> <p>第6回 産褥・新生児期の援助技術④ 親子関係形成の支援（演習）</p> <p>第7回 心理社会的ハイリスク産褥と家族へのケア① 地域で生活する親子の見方とその支援</p> <p>第8回 心理社会的ハイリスク産褥と家族へのケア② 事例検討（演習）</p>						<p>第1-3回 高塚</p> <p>第4-5回 野内、日比、高塚</p> <p>第6回 高塚、日比、野内</p> <p>第7回 日比</p> <p>第8回 日比</p>	
評価方法 評価基準	課題レポート 30%、演習課題 30%、最終レポート 40%							
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1) 基礎助産学4 母子の心理 社会学 医学書院 2) 助産学講座7 助産診断・技術学II [2]分娩期・産褥期 医学書院 3) 助産学講座8 助産診断・技術学II [3]新生児期・乳幼児期 4) 今日の助産 北川眞理子他 南江堂 			参考書等		<p>助産師基礎教育テキスト 2024年版 第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア 日本看護協会出版</p> <p>助産師基礎教育テキスト 2024年版 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア 日本看護協会出版</p> <p>NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会 母乳育児スタンダード第2版</p>		
学生への助言等	<p>助産師に最低必要とされる知識・技術・態度について学習します。母性看護学概論、母性看護援助論I・II、治療学IV（小児・女性）の理解の上で講義・演習を進めていきます。自分の学習課題を明確にし、時間外での自己学習に努めてください。講義や演習では、主体的・積極的な参加を求めます。</p>							